

5 形骸化ではなく、生徒にとって意味あるシラバスで、学習指導要領を越えよう。

- 神奈川県総合教育センターのシラバス見本と 高校のシラバスをもとに考える。 -

教育センターのシラバス見本には以下の事項が2ページ立てで記載されている。

1 ページ目...科目名・単位数・学年・使用(副)教材・(学習系統科目)・学習目標・
学習方法・学習評価・学習サポート

2 ページ目...年間学習計画(学習内容・学習のねらい・学習活動・評価方法を記入)

他の県の案もほぼ同様なものが多いが、1ページ立て(内容が多くて2~3ページになる場合もあるが)や、学習計画(年間計画)に使用教科書の項目を記入している例もある。

こんな風に見たら・・・

1 ページ目 ...教科・科目毎に共通に記入・各学校ホームページ公開も
大学のCourse Description(授業概要)的な部分をイメージ

教科名	社会科(公民科)	科目名	政治・経済
学年		分類	必修
単位数(週時数)	2	担当者	
使用教材	「政治・経済」(出版) 「図説 政経」(書店)		
学習の目標 学習方法等	学習指導要領の目標や各学校の学校目標などを踏まえ、 各科目の目標等を設定する。		
学習の評価	次の4つの観点に基づき、学習のまとまりごとに評価を行い、 それらを総括して前期末・後期末に評価を行い、それを総合 して学年末評定を行う。 関心・意欲・態度... 思考・判断... 資料活用の技能・表現... 知識・理解...		
は特に重視 する点	評価方法・観点		備考
	学習状況の観察		自己評価含む
	小テスト		
	課題レポート		随時テーマレポート
	定期テスト		年4回

国立教育政策研究所の示している各科目の観点の趣旨を
抜粋・要約

センターの例

各学校の実体にあわせ、重点事項や観点自体の変更・追加・削除

マトリックスではなくて文章化という方法も考えられる。

2 ページ目 ...実際のその科目を担当する個人・グループで作成

担当授業の最初にその授業を受けている生徒に配布 生徒・保護者への

科目名 政治・経済

担当者 個人名(連名も)

説明

学期	月	週	学 習 内 容	評価方法	
前 期	4	1	導入...政治とは何か? 経済とは何か?	↑	
		2	日本国憲法について理解を深め、考えよう!		
		3	大日本帝国憲法の成立と特徴について		
	5	4	日本国憲法の成立過程・3つの柱 象徴天皇制について		
		5	「基本的人権とは?」 成立原理も含めて		
		6	反差別 在日外国人(特に在日韓国・朝鮮人)・女性・部落 現状・歴史・対策政策 を取り上げる。		
	6	7	教育実習生が担当します。(3コマ分)... 内容は後日報告		
		8	「基本的人権とは?」Part 2		
		9	自由権...精神の自由...思想・学問・表現の 人身の自由...刑事手続きの保		
	7	10	経済の自由 公共の福祉		
		11	社会権...生存権・教育への権利・労働		
		12	民主政治の基本原則を確認しよう!...		
	9	13	日本と世界の政治機構...夏季の課題とし		
		14	現代民主政治の課題を考える。(選挙・世論		
		15	平和とは何だ?...修学旅行の事前学習も含めて		
	後 期	10	16		沖縄の歴史と今を考える。(戦禍と基地問題)
			17		他の科目との関連も考えながら...
			18		9条・自衛隊・安保・PKO
11		19	...あわせて、国連・国際政治の状況も		
		20	条文・経緯・現状・問題点等考えよう!		
		21	有事法制制についても 04年まで言及		
12		22	経済を理解し、今の経済状況の理解のプラスにし		
		23	経済とは?・資本主義の原理と変遷		
		24	市場経済...需要と供給・企業活動を中心に		
1		25	金融と財政・フローとストック		
		26	日本経済史...戦後復興 高度成長 石油危機 安定成長		
		27	バブル 不況... 現在		
2		28	現在の経済の問題点...中小企業問題・農業問題等		
		29	労働問題...労働組合の歴史・意義・労基法・労組法		
		30	今日の問題点...リストラ・派遣等		
3		31	社会保障...医療保険・年金問題・介護保険等		
		32	グローバルな経済...国際収支・外国為替・IMF・GATT		
		33	現代社会の諸問題について		
3	34	授業の進度・内容は、あなた方の意見や反応を参考にしながら、			
	35	途中で変更する場合があります。			
	36	余裕があれば別なテーマにも取り組みます。			
37					
38					
39					

この欄にも評価方法を記入している例も多いが、1ページ目だけでいいのではないかと、本当に学習する予定を書こう! 内容には、教科書の項目をただ書くのではなく、授業のねらい・ポイントも含めて記入する。

教科書の項目は、必ずしも必要ないのではないかと、授業のメリハリもこういうことは是非必要

主体的な学びを促す 学習意欲を高める

週の数字は概ねの週数, [数字]は定期テストを表す

学 習 の 方 法	資料集・資料プリントを中心に授業を展開します。
授 業 の 心 得	板書はあくまで要点の記述です。授業を聞いて、ノートは自分で工夫するように努めてください。

- - 「大学教育の質向上をめざしたシラバスの活用」「Syllabus とは何か」田中浩朗・神奈川県立総合教育センターホームページ を参考にした - -